Code No.KR051

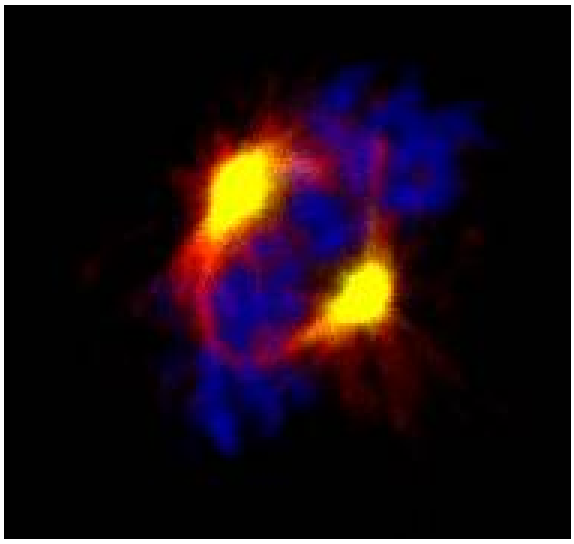
研究用試薬

抗 ヒト Aurora-A ポリクローナル抗体

ヒト分裂期キナーゼである Aurora-A（Aurora-A/STK-15/Aik）は、セリン・スレオニン・キナーゼのひとつであるが、その高発現によりげっ歯類の繊維芽細胞をトランスフォームすること、多くのヒト癌において遺伝子増幅がみられる 20q13 に染色体座位をもち、乳癌、大腸癌などで高発現していることより、新たな癌遺伝子のひとつとして考えられている。Aurora family はヒトにおいて 3 種類存在（Aurora-A, B, C）し、C末端のキナーゼドメインに高い相同性を有している。これまでの研究から、Aurora family は有糸分裂を正確に遂行するのに必須であることが分かっている。本キナーゼは分裂期における中心体の分離、双極紡錘体の形成などの重要な事象に機能していると考えられ、特に多くの癌細胞で本キナーゼが高発現していることから、癌治療における新規ターゲット分子として注目されている。

本抗体は、Aurora-A キナーゼの N 末端部分を抗原とし、Aurora-B や Aurora-C と反応しないことが確認されており、ウエスタンブロットや免疫染色に使用可能である。

容量	25μg（100μL/vial）
形状	ウサギポリクローナル抗体 0.25mg/mL、凍結品
バッファー	PBS [2%ブロックエース（安定化蛋白）、0.1%proclin 含有]
保管方法	－20℃以下 抗体を低濃度にて冷蔵保管されますと、失活する恐れがあります。 融解後は 4℃で保存し、お早めにご使用下さい。 また凍結融解を繰り返すことは避けて下さい。
製造方法	本キナーゼの N 末端部分を GST 融合蛋白質として免疫し、得られたウサギ抗血清より、同部位の His タグ蛋白質を用いたアフィニティーカラムにて精製。
使用濃度	ウェスタンブロッティング：0.5～2μg/mL 免疫染色：1～2μg/mL



green : Aurora-A

blue : DNA

細胞免疫染色

sample : HeLa 細胞

提供：熊本大学医学部腫瘍医学講座
佐谷　秀行先生
丸本　朋稔先生

Code No.KR051

抗 ヒト Aurora-A ポリクローナル抗体

【参考文献】

1. Giet R, Prigent C.:J Cell Sci 1999 Nov;112(Pt21):3591-601
2. Bischoff JR,et al.:EMBO J 1988 Jun 1;17(11):3052-65
3. Zhou H,et al.:Nat Genet 1988 Oct;20(2):189-93
4. Lim Shen Kiat,et al.:J Biol Chem 2002 Mar 22;277(12):10719-10726
5. Goepfert TM,et al.:Cancer Res 2002 Jul 15;62(14):4115-22

製造販売元

医化学創薬株式会社

神戸研究所

〒650-0047 兵庫県神戸市中央区港島南町 7-1-14

TEL: 078-945-7075 FAX: 078-306-0694

URL:https://soyaku.co.jp tech-kobe@soyaku.co.jp

旧製造販売元

株式会社トランスジェニック